お客さまへ

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

⚠警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。（火災・感電・落下の原因） 器具やランプを布や紙などで覆わない。（可燃物をかぶせて使うと火災の原因）	禁止	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。（火災・感電の原因）

⚠注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士などの資格が必要です。（火災・感電の原因） ランプに塗料などを塗らない。（ランプが過熱・破損してけがの原因） 器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。（過熱して火災の原因） 節電その他の理由でランプを取り外して間引き点灯しない。	禁止	直射日光の当たる状態で点灯しない。 ランプは落としたり、（物を）ぶつけたり、無理な力を加えない。（ランプが破損してけがの原因） スイッチの引きひもを強く引いたり、はじいたり、斜めに引かない。また、ランプにからませない。（破損して落下の原因）
		厳守	明るく安全にご使用いただくために半年に１回の保守・点検を行う。

点検

■６ヶ月に１回、外観及び機能（非常点灯持続時間と切替動作）の点検を行う。［建築基準法施行規則第６条・消防庁告示第３号と第14号］

■24（48）時間以上充電後、非常点灯持続時間が20（30）分以下となったら蓄電池を交換する。（）内の数値は非常灯の場合

■消防法では点検結果を所轄の消防署に報告することが義務づけられています。［消防法施行規則第31条］

ランプ交換・器具の清掃

⚠警告 電源スイッチを切ってから行う（感電の原因）

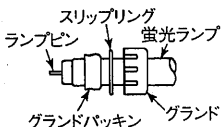
ランプ交換

適合ランプ	FL40S（EX） FLR40S（EX） FLR40S（EX）/36

●本器具のランプソケットは32mm管専用ソケットです。●光束値の違うランプに交換する場合、照度範囲がかわります。●三菱電機オスラムランプを使用してください。

（1）グランド、スリップリング、グランドパッキンをランプの両端に順次通す。
（2）ランプピンをソケットに差し込み、ランプを確実に装着する。
（3）ランプピンをソケットに差し込んだ後、グランドを左右均等に締めつける。

スリップリング　ランプピン　蛍光ランプ　グランドパッキン　グランド

⚠注意
○点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない（高温のためやけどの原因）
○ランプはソケットに確実に取付ける（取付けが不完全な場合落下の原因）
○使用済みのランプは不用意に割らない（ガラスが飛散してけがの原因）
○指定した管径以外のランプを使わない（防水性が損なわれ、火災・感電の原因）
○ソケットの清掃に洗剤を使用しない（洗剤でソケットが破損しランプ落下の原因）

■防水を目的に使用しているゴムパッキンは使用環境によって劣化が早まり、防水性能が低下する場合がありますので、定期的な点検、早めの部品交換をおすすめします。

清掃　○やわらかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞ってふきとってください。

⚠警告
器具・ランプを水洗いしない（火災・感電の原因）

蓄電池の交換

⚠警告 電源スイッチを切ってから行う（感電の原因）

適合蓄電池	4N25AA

蓄電池の交換は必ず当社指定の純正部品を使用してください。

⚠警告
蓄電池はショート・分解・加熱・変形させない
また、火中に入れない（やけどや衣類損傷の原因）

Ni-Cd

この製品には、ニカド電池を使用しております。ニカド電池はリサイクル可能な貴重な資源です。ニカド電池の交換及びご使用済み製品の廃棄に際しては、ニカド電池を取り出し、回収拠点へお持込みください。詳細は弊社カタログをご覧ください。

インバータ器具の取扱い

■赤外線リモコン方式のテレビ・ラジオなどは、照明器具から離してご使用ください。（雑音が入ったり、正常に作動しない場合があります。）

■受信電波が弱い場合には、AMおよび短波放送では雑音が入る場合があります。

■器具の近くでワイヤレスマイクを使用すると、雑音が入り正常に作動しない場合があります。

■放送設備などの音声信号や映像信号は微弱なため、電源線や安定器の配線からの雑音を受けることがあります。

異常時の処置

⚠警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

連絡先　三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎（0467）41-2728（営業企画課）
☎（0467）41-2773（品質保証部サービス課）

E767Z429H23

MITSUBISHI

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

三菱階段通路誘導灯・非常用照明器具兼用形【蓄電池内蔵形】

Easyeco Super トラフ形器具　防雨・防湿形（部品防水）（高調波ガイドライン適合品）

形名　**WKK4051E** EGS，EG　＜光束比25%＞

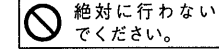
取扱説明書

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。
　また アフターサービスもできません。
○電源周波数50Hz、60Hz共用形ですから、日本全国どこでも使用できます。

施工者さまへ

○施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。
⊘ 絶対に行わないでください。　❗ 必ず指示に従い行ってください。

⚠警告 誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	引火する危険のある雰囲気で使わない。（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない）（火災の原因） 器具取付けの際は電線を挟まない。（絶縁不良により感電・火災の原因）	禁止	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。（絶縁破壊により感電・火災の原因） 取付面に凹凸がある所には付けない。（絶縁不良により感電の原因）
		厳守	施工は電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。

⚠注意 誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	高温（35℃以上）、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。（落下・感電・火災の原因） 腐食性ガスの出る場所で使わない。（劣化による落下の原因） 器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。（絶縁不良やさびにより感電・落下の原因） 表示された電源電圧以外では使わない。特に定格電圧の90%以下の電圧使用は、安定器の短寿命、故障となります。（火災・感電の原因）	禁止	軒下などの屋側以外の屋外で使用しない。 器具を密集して取付けない。（10cm以上離す）（器具の温度が高くなり火災の原因） 器具のノックアウトを外す場合はドライバー等により電線を傷つけない。（絶縁不良により感電・火災の原因） 狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。（器具が過熱して火災の原因） 調光用専用器具以外は調光させない。（器具が過熱して火災の原因）

お願い

■周囲温度は5～35℃の範囲でご使用ください。

■インバータ器具の場合は、電力線搬送を使用した機器と電源を共用すると、電力線搬送機器が正常に作動しない場合があります。

■直射日光や、空調機器等の排気口・温風吹出口付近の取付けはお避けください。（蓄電池の寿命が低下することがあります。）

■天井面に取付ける場合、取付ける部分が平らな所に取付けてください。（すき間が発生することがあります。）

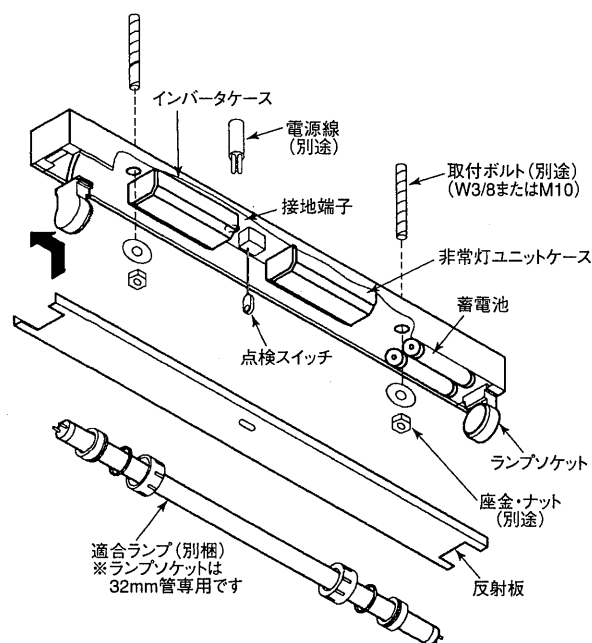
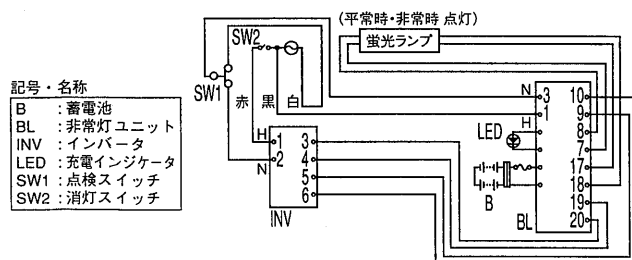
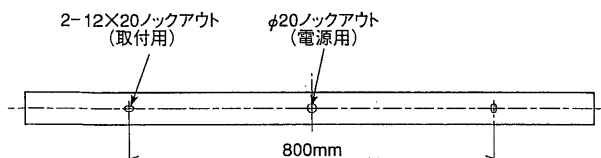
非常点灯時は、下表の光束値で点灯します。

ランプ	ランプ定格光束（lm）	光束比	非常点灯時光束（lm）
FL40SW	3100	25%	775
FL40S.EX	3560	25%	890
FLR40SW（/36）	3000	25%	750
FLR40S.EX（/36）	3450	25%	863

保証について

■保証期間は商品お買上げ日より１年間です。ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は３年間です。ランプ、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。詳細は弊社カタログをご覧ください。

各部のなまえと取付けかた

⚠警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）

接続図

取付穴

1 取付前の確認

器具質量に十分耐えるよう、取付ボルトの強度を確保する。

⚠警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける（落下の原因）

2 ランプソケットを取付ける

○本体に内蔵のランプソケットをソケット台に取付ける。

3 器具本体をボルトに取付ける

(1) 使用する電源穴に付属のコードブッシュをはめ込む。
(2) 電源線・アース線を器具本体のブッシュ付電源穴から引き込んでおく。
(3) 本体を取付ボルトに確実に取付ける。

⚠警告
取付けが不完全な場合落下の原因

4 電源線を接続する

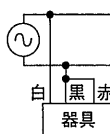
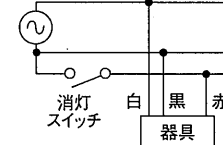
電源線と器具口出線を確実に接続する。

○口出線長さは、中央電源穴より器具外約0.15mです。
○高電位側は器具側の黒線と、低電位側は白線と合わせて接続する。
○電源線は専用回路にする。
○アース線を接地端子に圧着する。
<D種（第３種）接地工事が必要です。>

⚠警告
接続が不完全な場合は、接続不良による発熱により火災の原因

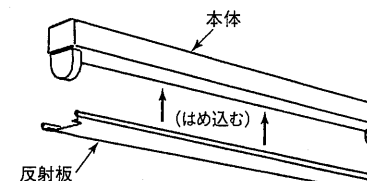
⚠警告
アース工事は電気設備の技術基準に従い行う
（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因）

⚠警告
接続部の防水処理が不完全な場合、絶縁不良による漏電、感電の原因

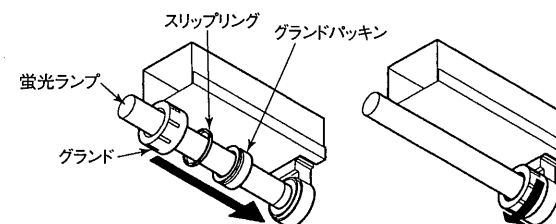
<単相２線２線引き
・平常時消灯しない場合>

<単相２線３線引き
・平常時消灯する場合>

・誘導灯として、この結線方法を使用する場合は所轄の消防署の了解を得る必要があります。

○通電後、蓄電池のコネクタを接続してください。通電しないで蓄電池のコネクタを接続したまま放置すると、蓄電池が過放電します。
○使用開始まで時間がある場合は、消灯するまで放電させた後、蓄電池のコネクタを外してください。

5 反射板を取付ける

点検スイッチの引きひもを反射板の穴に通してから、反射板を本体に固定する。

⚠注意
取付けが不完全な場合落下の原因

6 ランプを確実に取付ける

(1) 器具に同梱してあるグランド、スリップリング、グランドパッキンをランプの両端に順次通す。
(2) ランプピンをソケットに差し込み、ランプを確実に装着する。

⚠注意
取付けが不完全な場合落下の原因

(3) ランプピンをソケットに差し込んだ後、グランドを左右均等に締めつける。

一方に片寄り過ぎますと、接触不良を起こすことがあります。

7 点灯を確認する

(1) 非常点灯しない場合
・蓄電池と非常灯ユニットのコネクタははずれていませんか。
・蓄電池のヒューズは溶断していませんか。
・蓄電池は24（48）時間以上充電してありますか。（）内の数値は非常灯の場合
(2) 充電インジケータ（緑色の表示ランプ）が点灯しない場合
・電源は通電されていますか。
・蓄電池と非常灯ユニットのコネクタははずれていませんか。
・蓄電池、非常灯ユニットのヒューズは溶断していませんか。